

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																																										
ECC国際外語専門学校	昭和59年2月20日	瀧山淳一	〒530-0015 大阪府大阪市北区中崎西2-1-6 (電話) 06-6311-1446																																										
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																																										
学校法人山口学園	昭和58年11月22日	理事長 酒元英二	〒530-0015 大阪府大阪市北区中崎西2-3-35 (電話) 06-6366-1440																																										
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																																									
文化・教養	語学ビジネス専門課程	エアライン学科エアラインコース	平成17年文部科学省 告示第30号	-																																									
学科の目的	<p>本学は学校教育法及び教育基本法に基づき、語学ビジネス専門教育を通じて、実社会に有用な人材の育成を目的とする。以て国際間の人々の交流と相互理解を促進し、世界の文化向上とその恒久平和樹立に寄与したい。そのために以下の4項目をエアライン学科(エアラインコース)の学科目標として掲げている。</p> <p>①エアライン業界・企業出身の講師・専門家による理論と実学教育を通じて、最先端の情報と技術を提供することにより業界や企業が求める即戦力を伴った人材養成教育を行う。</p> <p>②授業で得た知識・技能を空港・企業(航空会社等)などの現場で実践することにより、接客・接客実践(経験)力を高める教育を行う。</p> <p>③専門知識・技能を証明する資格(マナー・プロトコル検定・中国語検定・ハングル能力検定・普通救命講習修了資格・サービス接客検定)取得教育を行う。</p> <p>④英語能力を磨き外国人のお客様とのコミュニケーション能力を高める実用英語教育を行う。</p>																																												
認定年月日	平成26年3月31日																																												
修業年限	昼夜	定課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習																																								
2年	昼間	1,710時間	1800時間																																										
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																																								
232人	244人	0人	8人	19人	27人																																								
学期制度	<p>■前期 4月 1日から 9月30日まで</p> <p>■後期 10月 1日から 3月31日まで</p>		成績評価	<p>■成績表: 有</p> <p>■成績評価の基準・方法</p> <p>各科目の単位認定は、以下の基準を全て満たすことで行う。 授業出席率が75%以上であること。 総合評価点が60点以上であること。</p>																																									
長期休み	<p>■夏期休業 8月 1日から 8月31日まで</p> <p>■冬期休業 12月20日から 1月 8日まで</p> <p>■春期休業 3月 1日から 3月31日まで</p>		卒業・進級条件	<p>【卒業の要件】卒業該当年度の各コースに設定された単位のうち、56単位を修得しているものに対して、学年末に卒業判定会議を開催し、学校長が卒業を認定する。</p> <p>【進級の要件】進級該当年度の各コースに設定された単位のうち、58単位を修得しているものに対して、学年末に進級判定会議を開催し、学校長が進級を認定する。</p>																																									
学修支援等	<p>■クラス担任制: 有</p> <p>■個別相談・指導等の対応</p> <p>・クラス担任による出欠確認</p> <p>・担任面談</p> <p>・保護者会</p> <p>・電話による対応</p>		課外活動	<p>■課外活動の種類</p> <p>・スポーツ大会 ・英語スピーチコンテスト</p> <p>・夏期英語集中プログラム</p> <p>・ハロウィーン ・文化祭(地球祭)</p> <p>・海外語学留学(英国・韓国等)</p> <p>・プレゼンテーションコンテスト ・春期就職活動プログラム</p>																																									
就職等の状況※2	<p>■主な就職先、業界等(平成30年度卒業生)</p> <p>日本航空、全日本空輸、スカイマーク、FDA、大韓航空、ANA関西空港、ANA大阪空港、ANA沖縄空港、Kスカイ、JALスカイ、JALスカイ大阪、ドリームエクスプレス</p> <p>■就職指導内容</p> <p>就職関連授業(ES・筆記・面接対策、エアラインリサーチ、プレゼンテーション、エアラインTOEIC、他)、各種ガイダンス、空港・施設見学、インターンシップ、学内企業説明会/選考会他</p>		主な学修成果(資格・検定等)※3	<p>■サークル活動: 有</p> <p>■国家資格・検定/その他・民間検定等</p> <p>(平成30年度卒業生に関する令和元年5月1日時点の情報)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TOEIC600点以上</td> <td>③</td> <td>81</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>実用英語技能検定2級</td> <td>③</td> <td>73</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>実用英語技能検定準1級</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>Word文書処理技能認定試験3級</td> <td>③</td> <td>38</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>Excel表計算処理技能認定試験3級</td> <td>③</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>サービス接客検定準1級</td> <td>③</td> <td>78</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>アマデウスシステム検定 Specialist</td> <td>③</td> <td>75</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>マナープロトコル検定3級</td> <td>③</td> <td>81</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。</p> <p>①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの</p> <p>②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの</p> <p>③その他(民間検定等)</p> <p>■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等</p>		資格・検定名	種	受験者数	合格者数	TOEIC600点以上	③	81	35	実用英語技能検定2級	③	73	38	実用英語技能検定準1級	③	4	0	Word文書処理技能認定試験3級	③	38	30	Excel表計算処理技能認定試験3級	③	1	0	サービス接客検定準1級	③	78	71	アマデウスシステム検定 Specialist	③	75	73	マナープロトコル検定3級	③	81	75			0	
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																																										
TOEIC600点以上	③	81	35																																										
実用英語技能検定2級	③	73	38																																										
実用英語技能検定準1級	③	4	0																																										
Word文書処理技能認定試験3級	③	38	30																																										
Excel表計算処理技能認定試験3級	③	1	0																																										
サービス接客検定準1級	③	78	71																																										
アマデウスシステム検定 Specialist	③	75	73																																										
マナープロトコル検定3級	③	81	75																																										
		0																																											
中途退学の現状	<p>■中途退学者 6名</p> <p>平成30年4月1日時点において、在学者209名(平成30年4月1日入学者を含む)</p> <p>平成31年3月31日時点において、在学者203名(平成31年3月31日卒業者を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由</p> <p>進路変更、家庭の事情、単位不足</p>		■中退率 2.87%																																										
経済的支援制度	<p>■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有</p> <p>①英語試験特待による減免 ②ライセンス優遇特待による減免 ③指定大学・短大卒業による減免 ④大学・短大・専門学校卒業による減免 ⑤山口学園ご家族紹介優遇 ⑥ECC学習経験者優遇 ⑦関西外大・山口勇記念奨学生制度</p> <p>■専門実践教育訓練給付:非給付対象</p> <p>※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載</p>																																												
第三者による学校評価	<p>■民間の評価機関等から第三者評価:無</p>																																												
当該学科のホームページURL	<p>http://kokusai.ecc.ac.jp/</p>																																												

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資

3. 主な学修成果(※3)

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教育課程編成委員会を設置し航空業界に関する企業、団体等との連携体制を強化し、授業科目やカリキュラムの更なる充実をはかる。航空・観光業界に精通した協会および企業等より委員を選任し、年2回の委員会では以下の事項について協議をし、改善を積極的に実践する。

1. 授業内容・学習成果・進路成果を分析し、改善策を協議する。年二回実施する、学生アンケート結果や授業内容・進路内容・学校生活等の情報をもとに、教育内容の改善を行う。
2. 企業・業界からの新たなニーズや要望を受け入れ、カリキュラムや実習・授業以外のプログラムに組み込めるかを協議し、年間カリキュラム、プログラムに反映させる。そのために、積極的に就職先企業よりモニタリングを行い、職業人として必要な要素や課題の情報収集につとめる。
3. 教職員のスキル(専門知識/技術)と指導力の向上を図るために研修体制を継続的に行うための情報共有の場とする。教職員アンケート(年2回)を実施しその情報を基に、企業研修(インターンシップ)の事前教育、研修期間中、事後教育における企業との連携・調整の改善をおこなう。
4. 教育課程編成委員会で協議された内容を、学内カリキュラム編成委員会で検討し、次年度以降の実際のカリキュラムや学校事業に組み込み、採用できない場合はその背景をまとめ次年度以降の教育課程編成委員会で報告し了解を得る。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

以下の①～⑤の流れに沿って編成委員会において、教育課程の改善を図る

- ① 教務課:教育に関する現状分析と課題をまとめ③の教育課程編成委員会に資料提出する。
- ② 進路指導課:進路指導に関する現状分析と課題をまとめ③の教育課程編成委員会に資料提出する。
- ③ 第1回教育課程編成委員会:教務・進路指導の課題を受け、企業・業界の立場から改善策の協議と提案する。
- ④ 学内カリキュラム編成委員会:教育課程編成委員会での協議内容に基づき審議し実施可能か決定する。
- ⑤ 第2回教育課程編成委員会:新年度の人材育成目標、カリキュラム改善点等を報告し承認を得る。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和元年9月30日現在

名前	所属	任期	種別
明石 伸子	特定非営利活動法人 日本マナー・プロトコル協会	2019年4月1日～2021年3月31日(2年)	①
原 康隆	株式会社 スカイマーク	2019年4月1日～2021年3月31日(2年)	③
西出 由佳	株式会社 Kスカイ	〒530-0015 大阪府大阪市北区中崎西2-	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (11月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 平成30年11月7日14:00-16:00

第2回 平成31年2月20日15:00-17:00

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会委員の方に求められる人材像や、近年の若手社員に見られる傾向をお聞きした。英語力・人間力の醸成がより求められており、授業のマナー指導や、期日を守って日々生活する等の指導を強化した。また英語に関してはオンライン英会話を導入し、実用英語力が高まるようカリキュラム変更を行った。現在準備している3年制の国際エアラインコースについてもコメントをいただき、3年間の時間をかけて取り組む事柄について確認した。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

1.企業等との連携による実習・演習等の目的

- ・業界の実態を理解するために仕組み、内容、最新情報・技術を学生に授業を通じて提供する。
- ・業界での現場体験することにより、接客実戦(経験)力を高める。企業等と連携して実習・演習を行う。

2.企業等との連携による実習・演習等の運営

- ・企業等との連携による実習・演習等は本校教員と企業等から派遣された担当者が共同して実施する場合と、企業等から提供されたカリキュラム及び教材をもとに本校教員が授業を実施する場合がある。

・実施された実習・演習等については教務責任者、コース担任及び教育課程編成委員会で内容を検証し改善を図る。

3.企業等との連携による実習・演習等の評価

- ・本校教員と企業担当者が共同して実施する場合は、授業の成果に対して企業担当者の評価を基に本校教員が成績評価を行う。

・カリキュラム等を提供されて実施する場合は、企業等の成績評価規程に従って本校教員が成績評価を行う。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

マナープロトコール検定対策・エアライン就職対策の授業の中で授業進行や検定試験合格、就職に必要な技術・知識や学生評価に関して、カリキュラム、講師指導方法について指導助言をいただく。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
マナー・プロトコール 検定対策 I B	マナーやプロトコール(国際儀礼)に関わる知識を身につけ、真の国際人として世界で活躍できるエアライン業界では必須の「マナー・プロトコール検定」を学習し、まずは3級の取得を目指します。	特定非営利活動法人(NPO 法人) 日本マナー・プロトコール協会
エアライン就職対策 I B	自己分析、履歴書・エントリーシート作成から第一印象のブラッシュアップまでエアライン受験突破に必要なスキルを修得します。(1)カリキュラム内容・授業内容・進行に関する助言(2)コースに関連する教員に対する研修(3)成績評価等に関する助言等	株式会社Kスカイ

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

「教務規約第35条」に定められている通り、以下の基本方針を定めている。

1. 推薦学科の教員に対する研修・研究の目的

教員の質を一定以上に保つことと技術の向上のために、業界で使用されている標準技術、最新技術等を教員が直接企業等から学ぶ研修と、教授技術等の教育に関わる研修を毎年度それぞれ1回以上実施する。

2. 推薦学科の教員に対する研修・研究の運営

研修については講師を本校に迎え入れて教員全員が同時に受講する全体研修と、一部の教員が参加する外部研修を適時組み合わせて実施する。一部の教員が参加する外部研修については、その研修内容について報告会を実施するなどして教員全体へその情報を伝える。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「関西空港研修」(連携企業等:株式会社Kスカイ)

期間:平成30年8月10日(金) 対象:教職員・学生

内容:グランドスタッフの社員研修で伝えていることを共有するとともに、関西国際空港の現状を知る。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「Hyper-QU 活用研修」(連携企業等:図書文化社)

期間:平成30年12月17日(月) 対象:教職員

内容:Hyper-QUを活用したクラス運営方法や個別支援を学ぶ

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「関西空港研修」(連携企業等:株式会社CKTS)

期間:令和元年9月9日(月) 対象:教職員・学生

内容:旅客・航務・貨物の現状を知ると共に、関西国際空港の現状を知る。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「アクティブラーニングの導入について」(連携企業等:図書文化社)

期間:令和元年3月25日(月) 対象:教職員

内容:アクティブラーニングの導入にあたり、具体的な手法とクラス運営について研修を受ける。

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校の「学校評価実施規定」に学校関係者評価について以下のように定めている。

(学校関係者評価)

第11条 校長は自己評価の結果を本校の関係者により組織した学校関係者評価委員会(以下「関係者委員会」という。)に報告し、意見を聴き、その意見を尊重し、教育活動及び学校運営に活用しなければならない。

(関係者委員会の構成)

第12条 関係者委員会は、次に掲げる区分から校長が委託する委員により構成する。

(1) 関連業界等関係者 2名以上 (2) 卒業生 1名 (3) 保護者または地域関係者 1名 (4) その他校長が必要と認める者1名
2 委員の任期は、2年とする。ただし再任を妨げない。

(関係者委員会の運営)

第13条 関係者委員会に委員長を置く。

2 関係者委員会は、校長が招集し、委員長がその運営にあたる。

3 校長が必要と認める場合は、関係者委員会に委員以外の者の出席を求めることができる。

4 関係者委員会は、委員の過半数が出席しなければ開会することができない。

5 関係者委員会は、自己評価の進捗状況に応じ次年度の計画策定までの間に開催しなければならない。

(報酬及び費用弁償)

第14条 関係者委員会の報酬及び費用弁償については、本校が定める基準により支払う。

(学校関係者評価の評価結果)

第15条 委員長は、関係者委員会による評価結果をまとめ、報告書を作成しなければならない。

(学校関係者評価の活用)

第16条 教職員は、学校関係者評価の結果を活用し、教育活動及び学校運営等の質の保証と向上に継続的に努めなければならない。

(学校関係者評価結果の報告)

第17条 校長は、学校関係者評価結果を理事会に報告しなければならない。

(学校関係者評価結果の公表)

第18条 校長は学校関係者評価結果について公表しなければならない。

(その他)

第19条 本規定に定めるもののほか本校の学校評価に関し必要な事項は、校長が別に定める。

本校ではこの「学校評価実施規定」に則り、年間1～2回、学校関係者評価委員会を開催、学園ホームページ上に公開している。

本校ではこの「学校評価実施規定」に則り、年間1～2回、学校関係者評価委員会を開催、学園ホームページ上に公開している。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の理念・目的・育人人材像は定められているか ・学校における職業教育の特色は何か ・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか ・学校の理念・目的・育人人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか ・各学科の教育目標、育人人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか
(2) 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・目的等に沿った運営方針が策定されているか ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか ・人事、給与に関する規定等は整備されているか ・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか

(3) 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ・教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえた学科としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか ・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。 ・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか ・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか ・授業評価の実施・評価体制はあるか ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか ・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか ・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか ・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか ・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか ・職員の能力開発のための研修等が行われているか
(4) 学修成果	<ul style="list-style-type: none"> ・就職率の向上が図られているか ・資格取得率の向上が図られているか ・退学率の低減が図られているか ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。
(5) 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・進路・就職に関する支援体制は整備されているか ・学生相談に関する体制は整備されているか ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか ・課外活動に対する支援体制は整備されているか ・学生の生活環境への支援は行われているか ・保護者と適切に連携しているか ・卒業生への支援体制はあるか ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか
(6) 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか ・防災に対する体制は整備されているか
(7) 学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> ・学生募集活動は、適正に行われているか ・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか ・学納金は妥当なものとなっているか
(8) 財務	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ・財務について会計監査が適正に行われているか ・財務情報公開の体制整備はできているか

(9) 法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか ・自己評価結果を公開しているか
(10) 社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか ・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか
(11) 国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか ・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか ・留学生の学修・生活指導について学内に適切な体制が整備されているか ・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

- ・就職後の継続率についてのご指摘を基に、卒業生の追跡調査や同窓会組織の発足を進めている。
- ・卒業生委員の方から、卒業後の関係性の強化についてのご意見をいただき、校友会(同窓会)を発足し、コミュニティの拡大をはかっている。
- ・退学防止策として、経済面の支援体制についてご意見をいただき、公的な奨学金の他、学内での奨学金制度の発信をはかっている。
- ・留学生受け入れに関してご意見をいただき、グローバル化にむけて、より日本人学生と留学生が入学から卒業後もつながりをもてる機会の創出に取り組んでいく。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和元年9月30日現在

名前	所属	任期	種別
三橋 滋子	一般社団法人日本添乗サービス協会	令和元年4月1日～令和3年3月31日(2年)	業界団体等委員
西出 由佳	株式会社Kスカイ	令和元年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
下西 由子	セントレジスホテル大阪	令和元年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
小椋 圭一郎	社会福祉法人 日本ヘレンケラー財団	令和元年4月1日～令和3年3月31日(2年)	業界団体等委員
中上 隆雄	済美地域社会福祉協議会	令和元年4月1日～令和3年3月31日(2年)	地域関係者
塩谷 典子	株式会社TEI	令和元年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
貴治 康夫	立命館高等学校	2018年4月1日～令和2年3月31日(2年)	高校教員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL:<http://kokusai.ecc.ac.jp/>

公表時期:令和元年9月30日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校では、文部科学省生涯学習政策局が平成25年3月に発表した「専修学校における学校評価ガイドライン」附属資料5「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の趣旨および取組に当たっての視点、情報提供の内容・方法に則り、本校が設定する項目について本校及び学園のホームページ上で広く一般に公開するものとする。
 連携および協力する企業等の学校関係者に対してもホームページ上で公開している情報を提供するとともに、学校関係者評価委員会や教育課程編成委員会等の委員会を通じて本校の教育活動その他の学校運営の状況について理解を深めていただくものとする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の教育・人材養成の目標及び教育指導計画、経営方針、特色、校長名、所在地、連絡先、学校の沿革、歴史、その他の諸活動に関する計画 例:学校安全・保健対策等
(2)各学科等の教育	入学者に関する受け入れ方針及び入学者数、収容定員、在学学生数、カリキュラム(科目配当表(科目編成・授業時数)、時間割、使用する教材など授業方法及び内容、年間の授業計画進級・卒業の要件等(成績評価基準、卒業・終了の認定基準等)、学習の成果として取得を目指す資格、合格を目指す検定、資格取得、検定試験合格等の実績卒業生数、卒業後の進路(進学者数・主な進学先、就職者数・主な就職先)
(3)教職員	教職員数(職名別)教職員の組織、教員の専門性
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況、実習・実技等の取り組み状況、就職支援等への取り組み支援企業・施設、業界団体等との連携によるカリキュラムの改善
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況、課外活動(部活動、サークル活動、ボランティア活動等)
(6)学生の生活支援	学生支援への取組状況
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金の取扱い(金額、納入時期)活用できる経済的支援措置の内容等(奨学金、授業料減免等の案内等)
(8)学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、監査報告書
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果、評価結果を踏まえた改善方策
(10)国際連携の状況	留学生の受入れ・派遣状況、外国の学校等との交流状況
(11)その他	学則、学校運営の状況に関するその他の情報

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法
 (ホームページ)

URL:http://kokusai.ecc.ac.jp/about/self_evaluation/

授業科目等の概要

(語学ビジネス専門課程エアライン学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			エアラインリサーチ I A	航空輸送の発展と現状、飛行原理や航空業界について理解を深めていきます。また、採用傾向や各社の企業研究、職種研究も行います。	1/前	30	2	○			○			○	△
○			エアライン筆記対策 (理系) I A	航空会社の就職筆記試験において出題頻度の高い数学の問題を選出し解き方や考え方を指導します。SPI対策としても役立つ授業です。	1/前	30	2	○			○			○	
○			エアライン就職対策 I A	エアライン就職とはどのようなものか基礎を学びます。また航空業界で求められる人材について考察します。	1/前	30	2	○			○			○	
○			美しい日本のマナー I A	言葉遣いや立ち居振る舞いといった航空業界を目指す人としての「内面」を磨く学習です。	1/前	30	2	○			○			○	
○			プレゼンテーション(AL) I A	自分の主張や考えを的確に、効率よく、好感をもって相手に伝えられるよう、話の道筋を確立させる「話法」を学習します。人前で自信を持って「説得力」と「影響力」のあるプレゼンテーションができる力を習得します。	1/前	30	2	○			○			○	
○			アマテウス検定対策 Specialist I A	航空会社の予約管理システム端末の操作技能習得を通して、航空会社間の予約規則等航空業界の基礎知識を得ます。操作実習を通し、都市コード、空港コードを初めとする航空業界、旅行業界で必要な知識を身につけます。	1/前	30	2	○			○			○	
○			エアライン筆記対策 (理系) I B	航空会社の就職筆記試験において出題頻度の高い数学の問題を選出し解き方や考え方を指導します。SPI対策としても役立つ授業です。	1/後	30	2	○			○			○	
○			エアライン面接対策 I B	グループ面接、ディスカッション面接など様々な形式の面接に対応した対策を行ないます。また本番を想定した模擬面接を実施することでエアライン面接についての理解を深めます。	1/後	30	2	○			○			○	
○			エアライン就職対策 I B	自己分析を徹底的に行います。履歴書・エントリーシート作成などについてエアライン受験突破に必要なスキルを修得します。Online英会話を通して英語の運用力を鍛えます。	1/後	30	2	○			○			○	○
合計				科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1 学年の学期区分	期
	1 学期の授業期間	週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(語学ビジネス専門課程エアライン学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			AIRLINE ENGLISH I B	航空業界でよく使う英語のフレーズ、単語の習得を目指します。ロールプレイングを通じて身につけていきます。	1/後	30	2	○			○		△	○	
○			マナー・プロトコル検定対策(3級) I B	マナーやプロトコル(国際儀礼)に関わる知識を身につけ、真の国際人として世界で活躍できるようにエアライン業界では必須の「マナー・プロトコル検定」を学習し、まずは3級の取得を目指します。	1/後	30	2	○			○		○		○
	○		韓国語初級 I A	1)基礎的な韓国語を身につけ、韓国語でコミュニケーションが図れるようになる。2)また、韓国語を通して韓国の文化や風習など韓国社会を理解してもらうことを目指す。	1/前	30	2	○			○				○
	○		中国語入門 I A	ピンイン(発音記号)を最初に覚え、ネイティブに近い発音体系を学習する。また、簡単な自己紹介や疑問文や否定文など簡単なフレーズも覚えていきます。	1/前	30	2	○			○				○
	○		CA STUDY I B	客室乗務員の仕事の基礎を学びます。機内アナウンス、drinkサービス、誘導・案内業務などを想定したロールプレイ(日本語・英語)を通じて、業務内容を理解し、接客力を伸ばします。	1/後	30	2	○			○			○	
	○		GS STUDY I B	旅客運送の基礎知識を学びます。搭乗手続きを行なうチェックインカウンター、搭乗口、到着/乗り継ぎ等の場面において航空業界用語の解説も含め仕事の内容を学んでいきます。カウンター対応などを想定したロールプレイ(日本語・英語)やアナウンス講義も実施し、現場に即した対応能力を養います。	1/後	30	2	○			○			△	○
	○		エアライン TOEIC 1 I B	エアライン就職活動に必須であるTOEICの点数アップを目的とします。レベル別に分かれ、それぞれのレベルに合わせた点数アップのノウハウを学びます。	1/後	30	2	○			○				○
	○		エアライン TOEIC 2 I B	エアライン就職活動に必須であるTOEICの点数アップを目的とします。レベル別に分かれ、それぞれのレベルに合わせた点数アップのノウハウを学びます。	1/後	30	2	○			○				○
	○		エアライン TOEIC 3 I B	エアライン就職活動に必須であるTOEICの点数アップを目的とします。レベル別に分かれ、それぞれのレベルに合わせた点数アップのノウハウを学びます。	1/後	30	2	○			○				○
合計				科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(語学ビジネス専門課程エアライン学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		エアライン TOEIC4 IB	エアライン就職活動に必須であるTOEICの点数アップを目的とします。レベル別に分かれ、それぞれのレベルに合わせた点数アップのノウハウを学びます。	1/ 後	30	2	○			○		○		
	○		エアライン TOEIC5 IB	エアライン就職活動に必須であるTOEICの点数アップを目的とします。レベル別に分かれ、それぞれのレベルに合わせた点数アップのノウハウを学びます。	1/ 後	30	2	○			○		○		
	○		エアライン TOEIC6 IB	エアライン就職活動に必須であるTOEICの点数アップを目的とします。レベル別に分かれ、それぞれのレベルに合わせた点数アップのノウハウを学びます。	1/ 後	30	2	○			○			○	
	○		韓国語初級 IB	基礎的な韓国語を身につけ、初歩的なコミュニケーションが図れるようになることを目指します。韓国語を通して韓国文化や風習など韓国社会を理解することを目指します。	1/ 後	30	2	○			○			○	
	○		中国語初級 IB	これ、あれ、それ、などの指示代名詞や数量を表す言葉や場所を表す指示代名詞を学びます。中国語検定準4級レベルを目指します。	1/ 後	30	2	○			○			○	
	○		Listening & SpeakingNC(2019) I A	英語を母国語としない学習者にとって最も効果的だと言われているチームティーチング(バイリンガル講師とネイティブ講師)で、コミュニケーション能力を磨きます。	1/ 前	60	4	○			○		△	○	
	○		Listening & SpeakingEM(2019) I A	英語を母国語としない学習者にとって最も効果的だと言われているチームティーチング(バイリンガル講師とネイティブ講師)で、コミュニケーション能力を磨きます。	1/ 前	60	4	○			○			○	
	○		Listening & SpeakingID(2019) I A	英語を母国語としない学習者にとって最も効果的だと言われているチームティーチング(バイリンガル講師とネイティブ講師)で、コミュニケーション能力を磨きます。	1/ 前	60	4	○			○			○	
	○		Listening & Speaking3(2019) I A	英語を母国語としない学習者にとって最も効果的だと言われているチームティーチング(バイリンガル講師とネイティブ講師)で、コミュニケーション能力を磨きます。	1/ 前	60	4	○			○			○	
合計				科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(語学ビジネス専門課程エアライン学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		News in English(2019) I A	社会問題のテーマを元にディスカッションを行います。	1/前	60	4	○			○			○	
	○		Grammar Composition0(2019) I A	語学の基礎となる文法を洋書で学習し、Think in Englishを目指します。	1/前	60	4	○			○			○	
	○		Grammar Composition1(2019) I A	語学の基礎となる文法を洋書で学習し、Think in Englishを目指します。	1/前	60	4	○			○			○	
	○		Grammar Composition2(2019) I A	語学の基礎となる文法を洋書で学習し、Think in Englishを目指します。	1/前	60	4	○			○			○	
	○		Grammar Composition3(2019) I A	語学の基礎となる文法を洋書で学習し、Think in Englishを目指します。	1/前	60	4	○			○			○	
	○		Cross-Cultural Understanding(2019) I A	多様な文献や映像などを通して異文化理解を目指します。	1/前	30	2	○			○		○		
	○		Sociology(2019) I A	社会制度や社会の変化について学習します。	1/前	30	2	○			○		○		
	○		Reading & Writing0(2019) I A	英文の構造を学び、効率良く情報を得るテクニックや、英文Writingのコツを学習します。	1/前	30	2	○			○			○	
	○		Reading & Writing1(2019) I A	英文の構造を学び、効率良く情報を得るテクニックや、英文Writingのコツを学習します。	1/前	30	2	○			○			○	
合計				科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(語学ビジネス専門課程エアライン学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		Reading & Writing2(2019) I A	英文の構造を学び、効率良く情報を得るテクニックや、英文Writingのコツを学習します。	1/前	30	2	○			○			○	
	○		Reading & Writing3(2019) I A	英文の構造を学び、効率良く情報を得るテクニックや、英文Writingのコツを学習します。	1/前	30	2	○			○			○	
	○		International Relations(2019) I A	時事問題の背景、影響、解決方法などをディスカッションします。	1/前	30	2	○			○			○	
	○		英検0(2019) I A	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	1/前	90	6	○			○			○	
	○		英検1(2019) I A	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	1/前	90	6	○			○		△	○	
	○		英検2(2019) I A	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	1/前	90	6	○			○			○	
	○		英検3(2019) I A	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	1/前	90	6	○			○			○	
	○		英検4(2019) I A	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	1/前	90	6	○			○			○	
	○		TOEIC 1 (2019) I A	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	1/前	90	6	○			○			○	
合計				科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(語学ビジネス専門課程エアライン学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		TOEIC2(2019)IA	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	1/前	90	6	○			○			○	
	○		TOEIC3(2019)IA	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	1/前	90	6	○			○			○	
	○		TOEIC4(2019)IA	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	1/前	90	6	○			○			○	
	○		Listening & SpeakingNC(2019)IB	英語を母国語としない学習者にとって最も効果的だと言われているチームティーチング(バイリンガル講師とネイティブ講師)で、コミュニケーション能力を磨きます。	1/後	60	4	○			○		△	○	
	○		Listening & SpeakingEM(2019)IB	英語を母国語としない学習者にとって最も効果的だと言われているチームティーチング(バイリンガル講師とネイティブ講師)で、コミュニケーション能力を磨きます。	1/後	60	4	○			○			○	
	○		Listening & SpeakingID(2019)IB	英語を母国語としない学習者にとって最も効果的だと言われているチームティーチング(バイリンガル講師とネイティブ講師)で、コミュニケーション能力を磨きます。	1/後	60	4	○			○			○	
	○		Listening & Speaking3(2019)IB	英語を母国語としない学習者にとって最も効果的だと言われているチームティーチング(バイリンガル講師とネイティブ講師)で、コミュニケーション能力を磨きます。	1/後	60	4	○			○		○	○	
	○		News in English(2019)IB	社会問題のテーマを元にディスカッションを行います。	1/後	60	4	○			○			○	
	○		Grammar Composition0(2019)IB	語学の基礎となる文法を洋書で学習し、Think in Englishを目指します。	1/後	60	4	○			○			○	
合計				科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(語学ビジネス専門課程エアライン学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		Grammar Composition1(2019) IB	語学の基礎となる文法を洋書で学習し、Think in Englishを目指します。	1/後	60	4	○			○			○	
	○		Grammar Composition2(2019) IB	語学の基礎となる文法を洋書で学習し、Think in Englishを目指します。	1/後	60	4	○			○			○	
	○		Grammar Composition3(2019) IB	語学の基礎となる文法を洋書で学習し、Think in Englishを目指します。	1/後	60	4	○			○			○	
	○		Cross-Cultural Understanding(2019) IB	多様な文献や映像などを通して異文化理解を目指します。	1/後	30	2	○			○		○		
	○		Sociology(2019) IB	社会制度や社会の変化について学習します。	1/後	30	2	○			○		○		
	○		英検1(2019) IB	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	1/後	90	6	○			○			○	
	○		英検2(2019) IB	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	1/後	90	6	○			○		△	○	
	○		英検3(2019) IB	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	1/後	90	6	○			○			○	
	○		英検4(2019) IB	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	1/後	90	6	○			○			○	
合計				科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(語学ビジネス専門課程エアライン学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		TOEIC1(2019) I B	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	1/後	90	6	○			○			○	
	○		TOEIC2(2019) I B	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	1/後	90	6	○			○			○	
	○		TOEIC3(2019) I B	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	1/後	90	6	○			○			○	
	○		TOEIC4(2019) I B	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	1/後	90	6	○			○			○	
○			エアライン就職対策ⅡA	自己分析を深め、実際のエントリーシート・履歴書を仕上げていきます。また募集のあった企業についての研究も行います。On Line英会話を通して英語の運用力を鍛えます。	2/前	30	2	○			○			○	
○			エアライン筆記対策(理系)ⅡA	航空会社の就職筆記試験において出題頻度の高い数学の問題を選出し解き方や考え方を指導します。SPI対策としても役立つ授業です。	2/前	30	2	○			○			○	
○			エアライン面接対策ⅡA	グループ面接、ディスカッション面接など様々な形式の面接に対応した対策を行います。また志望企業別に対策することにより、本番を想定した模擬面接を実施します。	2/前	30	2	○			○			○	
○			社会時事・一般教養ⅡA	最新の社会の出来事や時事用語をおさえます。また航空業界の一般教養問題として頻出の日本地理・世界地理の知識も身につけます。	2/前	30	2	○			○			○	
○			手話ⅡA	指文字、日常の挨拶、数など特に日常生活でよく使う手話を習得します。	2/前	30	2	○			○			○	
合計				科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(語学ビジネス専門課程エアライン学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			カスタマーサービススキルズⅡB	より良い人間関係育成のためのコミュニケーションスキルを徹底的に学びます。	2/後	30	2	○			○			○	
○			手話ⅡB	視覚的な言語である手話を学ぶことによって基本的なコミュニケーション技術を学習し、接客業等に役立てます。	2/後	30	2	○			○			○	
○			Practical Airline Communication ⅡB	1年次に学んだ航空業界でよく使う英語のフレーズ、単語のさらに上級編の習得を目指します。ロールプレイングも通じて身につけていきます。またOn Line英会話を使用し、話す英語に慣れていきます。	2/後	30	2	○			○		○		
○			マナー・プロトコル検定対策(2級)ⅡB	1年次に学んだマナーやプロトコル(国際儀礼)に関わる知識をベースに、真の国際人として世界で活躍できるようにエアライン業界では必須の「マナー・プロトコル検定」を学習し、2級の取得を目指します。	2/後	30	2	○			○		○		
○			パソコン演習 Excel基礎ⅡB	ビジネスで求められるパソコンスキル(MicrosoftExcel)の基本操作を習得し、検定合格も目指します。	2/後	30	2	○			○			○	
	○		エアライン韓国語実践初級ⅡA	1年次で学習した基本をベースに、エアラインで使う韓国語を中心に学習を進めます。	2/前	30	2	○			○			○	
	○		エアライン中国語実践初級ⅡA	1年次で学習した基本をベースに、エアライン業界で使う中国語を中心に学習を進めます。最終的に充実したコミュニケーションが出来るよう図ります。	2/前	30	2	○			○			○	
	○		ハングル能力検定対策ⅡA	文法学習や新しい単語の習得を経てハングル能力検定5級または4級の習得を目指します。	2/前	30	2	○			○			○	
	○		中国語検定対策ⅡA	一年生で勉強した知識をベースに、中国語検定HSK1級、2級検定の過去問を解いていく授業を行う。解説を通じて、新しい表現、文法を取得する。	2/前	30	2	○			○			○	
合計				科目	単位時間(単位)		

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(語学ビジネス専門課程エアライン学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		エアライン韓国語実践中級ⅡB	1年次で学習した基本をベースに、エアラインで使う韓国語を中心に学習を進めます。	2/後	30	2	○			○			○	
	○		エアライン中国語実践中級ⅡB	1年次で学習した基本をベースに、エアラインで使う中国語を中心に学習を進めます。	2/後	30	2	○			○			○	
	○		ハングル能力検定対策ⅡB	2年間の総仕上げとして発音・会話・文法を繰り返し練習することによって、日常会話力を更に引き上げていきます。ハングル能力検定4級の習得を目指します。	2/後	30	2	○			○			○	
	○		中国語検定対策ⅡB	許可、習得、依頼といった表現方法や動詞の用法を学び、最終的に基本的なことに対応できるまでの総仕上げを行います。中国語検定の4級取得を目指します。	2/後	30	2	○			○			○	
	○		Communication Practice1(2019)ⅡA	ネイティブ講師によるコミュニケーションの応用クラスです。	2/前	60	4	○			○			○	
	○		Communication Practice2(2019)ⅡA	ネイティブ講師によるコミュニケーションの応用クラスです。	2/前	60	4	○			○			○	
	○		Communication Practice3(2019)ⅡA	ネイティブ講師によるコミュニケーションの応用クラスです。	2/前	60	4	○			○			○	
	○		Communication Practice4(2019)ⅡA	ネイティブ講師によるコミュニケーションの応用クラスです。	2/前	60	4	○			○			○	
	○		Film Criticism(2019)ⅡA	映画評論、映画の背景、俳優や監督の意図などを学びます。	2/前	60	4	○			○		○		
合計				科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(語学ビジネス専門課程エアライン学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		Grammar Composition1(2019)ⅡA	語学の基礎となる文法を洋書で学習し、Think in Englishを目指します。	2/前	60	4	○			○			○	
	○		Grammar Composition2(2019)ⅡA	語学の基礎となる文法を洋書で学習し、Think in Englishを目指します。	2/前	60	4	○			○			○	
	○		Grammar Composition3(2019)ⅡA	語学の基礎となる文法を洋書で学習し、Think in Englishを目指します。	2/前	60	4	○			○			○	
	○		Grammar Composition4(2019)ⅡA	語学の基礎となる文法を洋書で学習し、Think in Englishを目指します。	2/前	60	4	○			○			○	
	○		Business(2019)ⅡA	職場環境、マネジメント、マーケティングの概念などについて学びます。	2/前	60	4	○			○			○	
	○		Around the World 1(2019)ⅡA	国別に基本情報や歴史的名所などを英語で学習する異文化理解のクラスです。	2/前	30	2	○			○			○	
	○		Around the World 2(2019)ⅡA	国別に基本情報や歴史的名所などを英語で学習する異文化理解のクラスです。	2/前	30	2	○			○			○	
	○		Around the World 3(2019)ⅡA	国別に基本情報や歴史的名所などを英語で学習する異文化理解のクラスです。	2/前	30	2	○			○			○	
	○		Around the World 4(2019)ⅡA	国別に基本情報や歴史的名所などを英語で学習する異文化理解のクラスです。	2/前	30	2	○			○		○	△	
合計				科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(語学ビジネス専門課程エアライン学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		Economics(2019) IIA	国別に基本情報や歴史的名所などを学習する異文化理解のクラスです。貿易、雇用、不平等など、経済問題を学習します。	2/前	30	2	○			○		○		
	○		Reading & Writing1(2019) IIA	英文の構造を学び、効率良く情報を得るテクニックや、英文Writingのコツを学習します。	2/前	30	2	○			○			○	
	○		Reading & Writing2(2019) IIA	英文の構造を学び、効率良く情報を得るテクニックや、英文Writingのコツを学習します。	2/前	30	2	○			○			○	
	○		Reading & Writing3(2019) IIA	英文の構造を学び、効率良く情報を得るテクニックや、英文Writingのコツを学習します。	2/前	30	2	○			○			○	
	○		Reading & Writing4(2019) IIA	英文の構造を学び、効率良く情報を得るテクニックや、英文Writingのコツを学習します。	2/前	30	2	○			○			○	
	○		Cultural Anthropology(2019) IIA	多様な文化、伝統、思想など文化人類学の基礎を学びます。	2/前	30	2	○			○			○	
	○		TOEIC1(2019) IIA	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。ライティング・テクニック、ビデオ・クリップ作成などジャーナリズムを実践的に学びます。	2/前	60	4	○			○			○	
	○		TOEIC2(2019) IIA	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	2/前	60	4	○			○		△	○	
	○		TOEIC3(2019) IIA	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	2/前	60	4	○			○			○	
合計				科目	単位時間(単位)	

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(語学ビジネス専門課程エアライン学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		TOEIC4(2019) II A	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	2/前	90	6	○			○			○	
	○		TOEIC5(2019) II A	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	2/前	60	4	○			○			○	
	○		英検4(2019) II A	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	2/前	60	4	○			○			○	
	○		英検5(2019) II A	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	2/前	60	4	○			○			○	
	○		Journalism(2019) II A	ライティング・テクニック、ビデオ・クリップ作成などジャーナリズムを実践的に学びます。	2/前	60	4	○			○		○		
	○		Communication Practice1(2019) II B	ネイティブ講師によるコミュニケーションの応用クラスです。	2/後	60	4	○			○			○	
	○		Communication Practice2(2019) II B	ネイティブ講師によるコミュニケーションの応用クラスです。	2/後	60	4	○			○			○	
	○		Communication Practice3(2019) II B	ネイティブ講師によるコミュニケーションの応用クラスです。	2/後	60	4	○			○			○	
	○		Communication Practice4(2019) II B	ネイティブ講師によるコミュニケーションの応用クラスです。	2/後	60	4	○			○			○	
合計				科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(語学ビジネス専門課程エアライン学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		Film Criticism(2019) IIB	映画評論、映画の背景、俳優や監督の意図などを学びます。	2/後	60	4	○			○		○		
	○		Grammar Composition1(2019) IIB	語学の基礎となる文法を洋書で学習し、Think in Englishを目指します。	2/後	60	4	○			○			○	
	○		Grammar Composition2(2019) IIB	語学の基礎となる文法を洋書で学習し、Think in Englishを目指します。	2/後	60	4	○			○			○	
	○		Grammar Composition3(2019) IIB	語学の基礎となる文法を洋書で学習し、Think in Englishを目指します。	2/後	60	4	○			○			○	
	○		Grammar Composition4(2019) IIB	語学の基礎となる文法を洋書で学習し、Think in Englishを目指します。	2/後	60	4	○			○			○	
	○		Business(2019) IIB	職場環境、マネジメント、マーケティングの概念などについて学びます。	2/後	60	4	○			○			○	
	○		Around the World 1(2019) IIB	国別に基本情報や歴史的名所などを英語で学習する異文化理解のクラスです。	2/後	30	2	○			○			○	
	○		Around the World 2(2019) IIB	国別に基本情報や歴史的名所などを英語で学習する異文化理解のクラスです。	2/後	30	2	○			○			○	
	○		Around the World 3(2019) IIB	国別に基本情報や歴史的名所などを英語で学習する異文化理解のクラスです。	2/後	30	2	○			○			○	
合計				科目	単位時間(単位)	

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(語学ビジネス専門課程エアライン学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		Around the World 4(2019) II B	国別に基本情報や歴史的名所などを英語で学習する異文化理解のクラスです。	2/後	30	2	○			○		○	△	
	○		Economics(2019) II B	国別に基本情報や歴史的名所などを学習する異文化理解のクラスです。貿易、雇用、不平等など、経済問題を学習します。	2/後	30	2	○			○		○		
	○		Reading & Writing1(2019) II B	英文の構造を学び、効率良く情報を得るテクニックや、英文Writingのコツを学習します。	2/後	30	2	○			○			○	
	○		Reading & Writing2(2019) II B	英文の構造を学び、効率良く情報を得るテクニックや、英文Writingのコツを学習します。	2/後	30	2	○			○			○	
	○		Reading & Writing3(2019) II B	英文の構造を学び、効率良く情報を得るテクニックや、英文Writingのコツを学習します。	2/後	30	2	○			○			○	
	○		Reading & Writing4(2019) II B	英文の構造を学び、効率良く情報を得るテクニックや、英文Writingのコツを学習します。	2/後	30	2	○			○			○	
	○		Cultural Anthropology(2019) II B	多様な文化、伝統、思想など文化人類学の基礎を学びます。	2/後	30	2	○			○			○	
	○		TOEIC1(2019) II B	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	2/後	60	4	○			○			○	
	○		TOEIC2(2019) II B	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	2/後	60	4	○			○			○	
合計				科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(語学ビジネス専門課程エアライン学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		TOEIC3(2019) IIB	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	2/後	60	4	○			○			○	
	○		TOEIC4(2019) IIB	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	2/後	60	4	○			○			○	
	○		TOEIC5(2019) IIB	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	2/後	60	4	○			○			○	
	○		英検4(2019) IIB	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	2/後	60	4	○			○			○	
	○		英検5(2019) IIB	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	2/後	60	4	○			○			○	
	○		Journalism(2019) IIB	ライティング・テクニック、ビデオ・クリップ作成などジャーナリズムを実践的に学びます。	2/後	60	4	○			○		○		
合計				科目	1800単位時間(120単位)			

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業に必要な総時間数は1710時間・114単位 各科目の単位は出席率75%以上、評価点60点以上で認定する。	1学年の学期区分	前・後
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。